

令和5年度



YURIKAGO 通信

《10月号》

R5.9.25 東京ゆりかご幼稚園



黄金色の棚田を
囲んで

運動会に向けて 今年の夏は非常に暑い
ため、運動会の練習なども、園庭での水遊
びを織り交ぜながら行っています。活動に
よっては水着を着て練習し、練習後には
芝生のスプリンクラーで水遊びをして楽し
んでいます。芝生にはJリーグのグラウン
ドにも使用されているスプリンクラーが
11箇所に埋め込まれており、地下120mから汲み上げられた
冷たい地下水（滅菌消毒済）が放出されます。かけっこや競技など
を一生懸命に頑張った後、はじける笑顔で水あそびを楽しむ子ども
達の様子が印象的です。このように**メリハリ**をつけながら活動に集
中し、内容を充実させていくことが大切と考えています。



運動会に向け、体を動かす楽しさを味わうと共に、皆で一緒に踊
り、競い合い、力を合わせ頑張ることで得られる**達成感**を感じてほしいと願います。子どもの
頑張りを認め、成長を称え合う運動会となりますよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。

防犯教室 南大沢警察署の方にお越しいた
だき、職員による不審者対応の訓練、各クラ
ス内での園児避難訓練を行った後、年長はホ
ールでビデオを視聴し、署員の方より直接ご
指導をいただきました。



年長親子「夜の幼稚園①」

佐々木隊長の「夜の幼稚園」。夕方集合し、
夜の園庭を散策しました。コウモリの声
超音波機械で聴き、棚田で昆虫を観察し、
カエル池でホトケドジョウを発見！
2回目は10月20日です。お楽しみに！



年少 園外保育「磯沼牧場」

「磯沼ミルクファーム（磯沼牧場）に行きま
した。牛や羊を見学し、エサをあげると丘を
登り、「TOKYO FARM VILLAGE」に。
高台から「ヤッホー！」。気持ちの良い景色
を楽しむことができました。



年中 園外保育 ポスター掲示へ

園の周りの道路や森3箇所に、年中さんが
作った環境ポスターを貼りに行きました。
「ゴミを捨てないでね！」



年長 園外保育
「Nature Factory 東京町田
(旧大地沢青少年センター)」へ
 大地沢の森に出かけました。山に登り、境川の源流を探索し、沢ガニを見つけ、森の中でお弁当！



うさぎ 2組が始まりました！

9月からスタートのうさぎ2組。早速、室内・屋外の遊び、水遊びなどを楽しんでいます。うさぎ1組も運動会ごっこや収穫など、様々な活動を楽しんでいます。



野菜の栽培 2学期も学年ごとに様々な野菜を育てています。



- 年長 ブロccoli、ワケギ、ネギ、ホウレンソウ
- 年中 ハクサイ、カブ、ダイコン
- 年少 タマネギ他(予定)

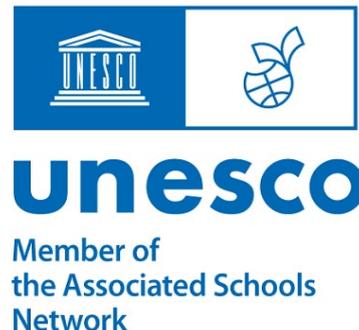
年長 落水式

稲も実り、田植えに向け水を止める「落水」をしました。種籾からここまでよく育ちました！いよいよ稲刈りです！「おにぎりパーティー」までもう一息！



ユネスコスクールとESDについて

職員室前に「ユネスコスクールコーナー」を設けました。今後は、関連する様々なトピックを掲示していきます。既にご承知の通り、本園は2018年にユネスコスクールに認定されESD（持続可能な開発のための教育）を推進しております。ESDの考えは幼児教育全般に通じるもので、特に「持続可能な社会の創り手」という考えは、文部科学省策定の「幼稚園教育要領」、「小・中・高等学校の学習指導要領」の中心に据えられています。ここで、改めてその考えや活動をご紹介します。



1. ESD (Education for Sustainable Development) とは？

今、世界には気候変動、生物多様性の喪失、資源の枯渇、貧困の拡大など様々な問題があります。ESDとは、これらの問題を自らの問題として主体的に捉え、人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、身近なところから取り組む (think globally, act locally) ことで、問題の解決につながる新たな価値観や行動などの変容をもたらし、持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動です。

2. ESD と SDGs の関係

ESDは、2002年の「持続可能な開発に関する世界首脳会議」で日本が提唱した考え方で、国連総会で採択され、ユネスコ(国連教育科学文化機関)を主導機関として国際的に取り組まれてきました。2015年の国連サミットにおいて、「持続可能な開発目標 (SDGs)」が採択されましたが、SDGsは「誰一人取り残さない」社会の実現を目指して、2030年を期限とする包括的な17の目標及び169のターゲットにより構成されています。ESDは、このうち目標4「すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯教育の機会を促進する」のターゲット4.7に位置付けられましたが、一方でSDGsの17全ての目標や、質の高い教育の実現に貢献するものとされています。

3. 学校教育における ESD の位置付け—新学習指導要領と ESD

2016年に発表された中央教育審議会の答申には、「持続可能な開発のための教育(ESD)は、次期学習指導要領改訂の全体において基盤となる理念である」とあります。そして策定された幼稚園教育要領、小・中・高等学校学習指導要領において、「持続可能な社会の創り手」の育成が掲げられました。

4. ESD で目指すこと

(1) 持続可能な社会づくりを構成する「6つの視点」を軸にして、教員・生徒・園児が持続可能な社会づくりに関わる課題を見出します。

● 持続可能な社会づくりの構成概念

- | | |
|---------------|-----------------|
| ① 多様性(いろいろある) | ② 相互性(関わりあっている) |
| ③ 有限性(限りがある) | ④ 公平性(一人一人大切に) |
| ⑤ 連携性(力合わせて) | ⑥ 責任制(責任を持って) |

(2) 持続可能な社会づくりのための課題解決に必要な「7つの能力・態度」を身につけます。

● ESD の視点に立った学習指導で重視する能力・態度

- | | |
|----------------|-------------------|
| ① 批判的に考える力 | ② 未来像を予測して計画を立てる力 |
| ③ 多面的・総合的に考える力 | ④ コミュニケーションを行う力 |
| ⑤ 他者と協力する力 | ⑥ つながりを尊重する態度 |
| ⑦ 進んで参加する態度 | |

※引用：文部科学省「持続可能な開発のための教育」

国立教育政策研究所「学校における持続可能な発展のための教育に関する研究(最終報告書)」

ここまでお読みいただくと、「幼児期には難しいので？」と思われるかもしれませんが、実は幼稚園の日々の遊びや生活の中で、当たり前に行われているもので、小中高등학교よりもむしろ身近な考え方なのです。

例えば「お友達と仲良く遊ぶ」は、右の図で言うと、「平和、人権、ジェンダー平等」などに関連します。

年長が行っている「稲作」は、「環境、文化多様性、地域の文化財、持続可能な生産・消費、生物多様性、気候変動エネルギー」と、実に多くの項目が関わってきます。

このように、幼稚園の生活、特に本園での環境を通した園生活では、ESDに関連する多くを主体的に学ぶことができます。遊びや生活を通して諸課題を自分事として捉え行動し、価値観を養っていく中で、小学校以降に続くESDの基礎が形成されていくのです。



国際理解について

ESDについて触れてきましたので、「国際理解」に関連する園の活動をご紹介します。

ECCは正に国際理解に当たりますが、文化多様性も関わります。特にアメリカ人のパット先生の豊かな表現は日本人にはあまり見られないものです。

年長のグループ決め

学期ごとに、グループ名を決めますが、2学期は国の名前。様々な国や国旗に親しみながら決めていきます。世界には沢山の国がありますが、地図を見て、地球儀を見て、国旗表を見て、本で調べて、相談しながら選んだ国旗を描き、1人1人の名前を書きました。職員室前のユネスコスクールコーナーには「地球のボール」がつる下げられており、様々な国の生きものや情報に触れることができますようにしています。

新たな取り組みとして「園内留学」を計画しています。これは、園児が興味を持ったり、疑問に感じている事柄などについて、世界中の専門家とZoomでつなぎ、画面を通して交流を持ち、知識を深めていくというものです。「おうちえんどキュメンテーション」でお馴染みの教育業者が、園のニーズに合わせ海外の専門家を探し、通訳をいたします。夏休みのどんぐりクラブで、興味を持った年長さんを対象に試験的に行いましたが、マレーシアにしかない巨大な昆虫を見せていただいたりして、子ども達も大変興味を示していました。今後、様々な分野に広げていけるよう検討していきます。



ひよこ組、うさぎ組、もも組(森のゆりかご)合同説明会

9月16日に説明会が行われ、説明会終了後より、令和6年度「ひよこ2歳組」の申し込みが始まりました。対象のお子様がいらっしゃいましたら、お待ちしております！

1歳児 ミニミニ運動会&園庭開放

10月13日(水)に園庭で行います！対象のお子様がいらっしゃいましたら是非ご参加ください！また、お知り合いの方がいらっしゃいましたらお誘いいただきますようお願い申し上げます。

お申し込みはこちらから

<https://forms.gle/ajqdV7ojGWQjruzv8>

